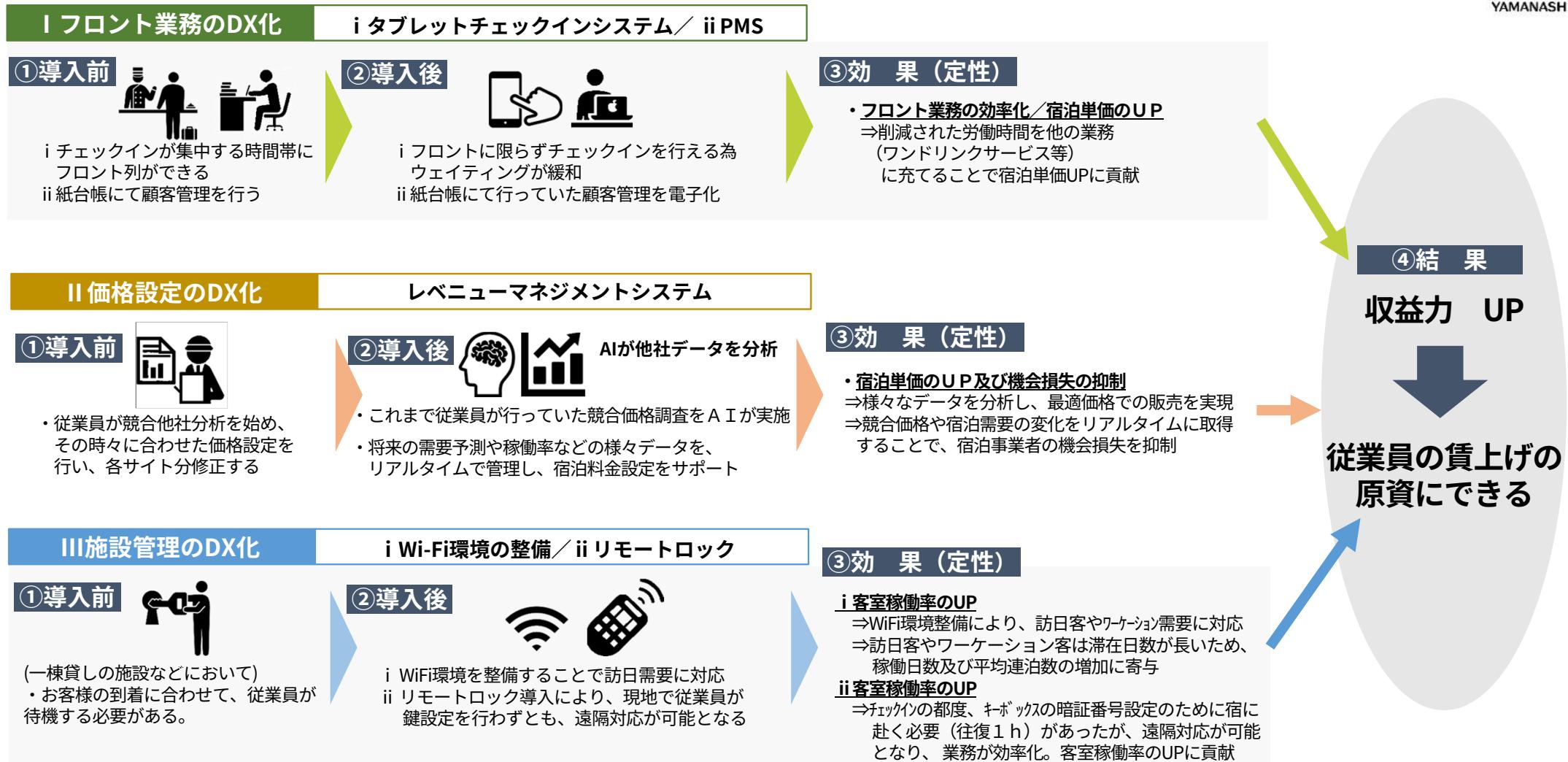


# DX導入による賃金UP（実例）



# DX導入による賃金UP（実例）

## IV 清掃業務のDX化

### ①導入前



- ・従業員が清掃を行っているため、清掃時間・人員を確保する必要がある。

## 清掃ロボット

### ②導入後



- ・これまで従業員が行っていた清掃業務の一部をロボットが代替（主にエントランス等の共有部）

### ③効果（定性）

#### ①客室稼働率のUP

⇒清掃人員を減らしても、これまでと同じ清掃効果を獲得  
⇒減らされた清掃人員が新たに客室清掃に加わることで、稼働率UPに貢献

#### ②宿泊単価のUP

⇒削減された労働時間を他の業務（ワンドリンクサービス等）に充てることで宿泊単価UPに貢献

## V 小売のDX化(売店)

### ①導入前



- ・売店専属スタッフ配置による労働生産性の低下
- ・営業時間が限定的による機会ロス

## 無人店舗

### ②導入後



- ・売店専属スタッフ廃止による運営
- ・24時間営業の実現

### ③効果（定性）

#### ①労働生産性のUP

専属スタッフを廃止し、従業員をマルチタスク化する事で労働生産性UPに貢献

#### ②販売高UPと機会損失の抑制

24時間営業実現による、機会損失の抑制と販売高UP

### ④結果

## 収益力 UP

↓  
従業員の賃上げの原資にできる

## VI バックオフィスのDX化

### ①導入前



- ・PMSと会計システムが連携していないため、手作業が発生し、大幅に時間がかかる。

### ②導入後



- ・財務会計アプリケーションを導入し、財務システムから会計システムへ自動取り込み

### ③効果（定性）

#### ①労働生産性のUP

⇒自動化による入力作業の大幅短縮  
⇒自動化によるヒューマンエラーの低減

#### ②販売高UPと機会損失の抑制

⇒経理処理の迅速化による経営判断の迅速化

## VII 部屋管理のDX化

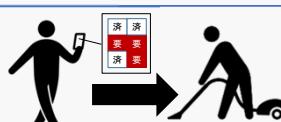
### ①導入前



- ・フロントと清掃スタッフの連携が悪く、どの部屋がチェックアウトしているのか把握できず非効率な状態

## ルームインジケーター

### ②導入後



- ・ルームインジケーターを導入することで、フロント・清掃スタッフ双方の見える化を実現。清掃要の部屋が即時に反映し、業務効率化を実現

### ③効果（定性）

#### ①宿泊単価のUP

⇒清掃を効率化することで、レイトチェックアウト・アーリーチェックインを可能にし、単価UPに貢献

#### ②労働生産性のUP

⇒チェックアウト部屋の見える化により、効率的な清掃業務による生産性のUP